

生徒会や議員によるオンライン放送、 委員会や係活動でのタブレット端末の活用

D:児童生徒の ICT 活用力向上

こんな生徒の姿が生まれました!

- 集会の内容や提示する資料を作成して、積極的に情報発信をする。
- 日常の委員会や係の活動において、目的に応じたデジタルデータの編集や配信を行なっている。

生徒発信! 全校生徒に訴えかける TV 会議システム

節目の集会などを生徒が企画し、
効果的に活用する全校 TV 会議

- ・一堂に集う全校集会を開かなくても、教室にしながらオンライン集会ができる。接続設定は議員が担い、急遽オンライン放送が必要になった場合でも、全教室で対応できる。
- ・委員長が全校生徒に向けて願いを語ったり、委員会活動や行事の連絡をしたりすることができる。
- ・撮影や放送に難しい操作技能は不要であり、人員を割くことはない。



導入のポイント

- 特別な撮影機材や放送設備は必要なく、送信側と受信側での放送機器の設定が容易にできる。
- 送信側からの問いかけに対して各教室から受け答えができ、双方向性の放送環境が手軽に設定できる。

委員会や係活動で必要に応じたタブレット端末の活用



動画の撮影と編集、全校 TV 会議システムで配信

- ・総合的な学習の時間で学んだ動画撮影や編集の仕方を生かして、掃除や放送の仕方などモデルとなる姿や動作、操作のノウハウなどを撮影する。それらの映像をタブレット端末のアプリで編集して、担当生徒の間でエアドロップ機能を使ってデータの共有を行う。また、撮影・編集した映像は、昼休みや集会の時間に全校 TV 会議システムで配信している。

活用のポイント

- 目的を明らかにして、手軽にできる動画撮影や映像編集の技能を生かす。
- 情報発信の方法を直接受け渡しとするか、多数に配信するかを生徒に考えさせる。